

令和7年度事業国庫補助金事業の自己評価について（概要）

資料1

事業評価の概要について

令和7年度事業実施にあたり、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金については能勢町地域公共交通会議より、地域間幹線系統確保維持費国庫補助金については大阪府より、それぞれ令和6年6月に計画認定の申請を行い、認定を受けました。

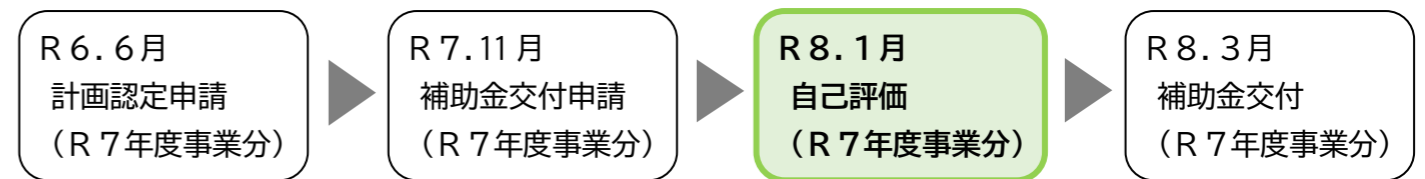
今般、これら令和7年度事業について、事業評価を実施する必要があります。

地域間幹線系統確保維持費国庫補助金については、令和7年度より市町村単位の地域公共交通会議にて事業評価の実施が求められることとなり、今回から本会議にて実施するものです。

【地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金】

補助対象事業者等	能勢町地域公共交通会議	
実施事業概要	能勢町乗合タクシー事業	
補助対象期間	令和6年10月～令和7年9月	
(参考)交付申請額	2,241千円	
前回の事業評価結果の反映状況※	前回結果	目標・効果について達成できなかったものの、近々、運行エリアの拡大を予定している。今後とも積極的な施策実施と効果検証を継続することで、持続可能な公共交通ネットワークが構築されることを期待する。
	反映状況	令和7年4月より、乗合タクシーの運行区域を町内全域に拡大した。乗合タクシー事業について利用者の声を反映した広報周知等を行った。また、利用状況のモニタリングと合わせて、地元への停留所位置の意見照会を行うなど、利便性向上へ向けた取組を行った。
事業実施の適切性	計画どおり適切に実施された →判定：A	
目標・効果達成状況	昨年度事業評価実施時点より、1日当たり利用者数は約3.9人増加（8.5人→12.4人）し、利用者は増加傾向にあるものの、下記のとおり、計画に位置付けている目標値に届かない項目もありました。 財政負担金額については、国庫補助金の活用により達成できるものです。 【各目標値と達成状況について】 目標1 …1日当たり利用者数を <u>25人以上</u> とする。 →[実績]12.4人 ※(参考)昨年度実績8.5人(但し、R6.4～9月の半年間) 目標2 …収支率を <u>16.7%以上</u> とする。 →[実績]6.04% ※(参考)昨年度実績4.8%(但し、R6.4～9月の半年間) 目標3 …財政負担金額を <u>10,567千円</u> とする。 →[実績]9,678千円	
総合評価	B	
事業の今後の改善点	・乗合率の向上へ向けた周知啓発等の取組強化 ・利用の少ない地域の利用促進	

■事業評価等に係る主なスケジュール（R7年度事業）



【地域間幹線系統確保維持費国庫補助金】

補助対象事業者等	阪急バス株式会社	
実施事業概要	西能勢線(以下、2系統)	
	能勢町宿野系統 〔山下駅前～能勢町宿野(森上経由)〕	口山内系統 〔山下駅前～口山内(森上経由)〕
補助対象期間	令和6年10月～令和7年9月	
(参考)交付申請額	7,782千円	
前回の事業評価結果とその反映状況	前回結果 〔抜粋※〕	効果ある生産性向上の取組について十分に検討し、引き続き利用促進に努められたい。
	反映状況	住民への広報・啓発による利用促進、阪急バスの利用促進冊子「ノリセツ」の発行、公共交通副教材の発行及び配布、乗合タクシーの運行による公共交通の補完など、生産性の向上への取組を継続して実施した。
事業実施の適切性	計画どおり適切に実施された→判定：A	計画どおり適切に実施された→判定：A
目標・効果達成状況	昨年度事業評価時点より、輸送人員の実績は約3.3%減少しました。 但し、人件費等の経常費用高騰の影響はあったものの、運賃改定により収入は増加し、収支率は改善しました。 【各目標値と達成状況について】 目標 …収支率の <u>1%以上</u> の改善 →[実績]0.1%の増加(34.40%) ※(参考)昨年度実績34.30% 【評価：B】	昨年度事業評価時点より、輸送人員の実績は約5.5%減少しました。 また、運賃改定により収入は増加したものの、人件費等の経常費用高騰の影響等により、収支率は悪化しました。 【各目標値と達成状況について】 目標 …収支率の <u>1%以上</u> の改善 →[実績]0.7%の減少(41.80%) ※(参考)昨年度実績42.50% 【評価：B】
総合評価	B	
事業の今後の改善点	引き続き、生産性の向上へ取り組むことで利用者数の維持・増加に努めていく。	

※地域間幹線系統国庫補助金の「前回の事業評価結果」については、事業評価が大阪府下の路線全体に対して行われていたため、阪急バス西能勢線に関わる部分のみ抜粋している。

(参考)事業実施の適切性、効果目標達成状況の判定について

〔事業実施の適切性について〕

- A：事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された
B：事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった
C：事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった

〔目標・効果達成状況について〕

- A：事業が計画に位置づけられた目標を達成した（する見込み）
B：事業が計画に位置づけられた目標を達成できていない点があった（一部達成できない見込み）
C：事業が計画に位置づけられた目標を達成できなかった（達成できない見込み）

※事業評価書類を国に提出するに当たり、様式や表現等の修正があった場合は、事務局にて対応いたします。